



Golden Week：授業アイデア (簡単版)

ゴールデンウィークをテーマにした英語の授業アイデア 2
本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 連休に名前をつけよう：キャッチコピー作り

中学・20分

🎯 言葉が宣伝から生まれることを知り、英語で短いキャッチコピーとその理由を書ける。

1. ゴールデンウィークが映画の宣伝から生まれたことを本文で確認する。
2. 夏休みや年末年始など別の休みを選び、グループで英語の名前（○○ Week など）を考える。
3. We call it ... because ... の形で理由を書き、クラスで投票する。

2. ゴールデンウィークのカレンダー英語

小学校・15分

🎯 4月・5月のカレンダーを見て、日付・曜日・祝日名を英語で言える。

1. 今年の4月末～5月はじめのカレンダーを配り、祝日に色をぬる。
2. 教師が What day is May 5? と聞き、児童が It's Children's Day. と答える。
3. 今年は何連休になるかを数え、How many days off? に英語の数字で答える。



1. 連休に名前をつけよう：キャッチコピー作り

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

「ゴールデンウィーク」が映画会社の宣伝から生まれたことを知り、別の休みに英語の名前をつけて We call it ... because ... で理由を書ける。

準備

- 基本セット p.1（読解）を1人1枚
- このサイトの英語ページの音声（第2段落の映画の話聞かせる）
- グループ用のミニホワイトボードかA4の紙（班に1枚）
- 投票用のシール、または挙手で数える用意

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	「ゴールデンウィークって英語？」と聞き、英語圏にはない和製英語であることを確認する。英語ページの会話で、アメリカ人のジャックが「アメリカでは聞いたことがない」と言っている部分を読ませる。	ゴールデンウィークが英語かどうか予想し、会話の該当部分を読む。	"Is Golden Week an English word?" "Jack is from America. He says, I've never heard that in America." "So who made this name? Let's find out."
展開1	5	基本セット p.1 の第2段落を音声で聞かせ、名前が生まれた経緯を確認する。1951年5月5日に同じ物語の映画が2本公開されてよく客が入り、映画会社がかもって人を呼ぶためにこの週を Golden Week と名づけた、という流れを板書する。ゴールデンタイムから思いついたという説もあることにふれる。	音声を聞きながら第2段落を読み、名前をつけたのは誰か、何のためかを答える。	"Listen to paragraph 2." "Who named the week? Yes, a movie company." "Why? They wanted more people to come to the movies." "So the name started as an ad."
展開2	8	班ごとに夏休み・冬休み・年末年始など別の休みを1つ選ばせ、英語の名前（〇〇 Week / 〇〇 Days など）を考えさせる。名前の理由を We call it ... because ... の形で1文書かせる。色や季節の単語を例として板書しておく。	班で休みを1つ選び、英語の名前と理由の文を紙に書く。	"Choose one holiday. Summer vacation, winter vacation, or New Year." "Give it an English name. Silver Week, Blue Week, anything!" "Write one sentence. We call it ... because ..." "Make people want to go out. That's the goal of an ad."
まとめ	4	各班が名前と理由を読み上げ、クラスで投票する。最後に、NHKはこの名前を使わず「大型連休」と言うこと、その理由の一つが映画の宣伝から始まった言葉だからであることを伝え、言葉の生まれ方に目を向けさせる。	班の名前と理由を英語で発表し、いちばんいいと思う名前に投票する。	"Read your name and your reason." "Which name do you like best? Raise your hand." "By the way, NHK does not use the name Golden Week." "One reason is that it started as a movie ad."

板書例

Golden Week = Japanese-made English（和製英語）

1951年5月5日 同じ物語の映画が2本公開 → 大ヒット

A movie company named the week Golden Week.

→ to bring in more people（宣伝 ad）

Our name: _____ Week

We call it _____ because _____.

例) We call it Blue Week because we go to the sea.

評価のポイント

- 名前をつけたのが映画会社で、目的が客を呼ぶためだったことを本文から答えられたか。
- We call it ... because ... の形で、名前と理由を1文で書けたか。
- ほかの班の発表を聞いて、理由に納得できる名前を選べたか。

つまづきへの手だて

- 名前が思いつかない班には、色（blue / red / white）や季節の物（sea / snow / star）の単語カードを渡す。
- because のあとが書けない生徒には、we go to ... / we eat ... / it is ... の書き出しを示す。
- 本文の第2段落が難しい生徒には、和訳を見ながら「誰が・いつ・なぜ」の3点だけ探させる。

発展

- 大映が秋の連休を「シルバーウィーク」と名づけたが、当時は広まらなかったことを紹介し、なぜ定着しなかったか予想させる。
- 基本セット p.4 のクロスワードに取り組む。
- 英語ページの討論の問い（テレビは広告から生まれた言葉を避けるべきか）について、I think ... because ... で意見を書く。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.4（クロスワード）
- このサイトの英語ページの音声と会話



2. ゴールデンウィークのカレンダー英語

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

4月・5月のカレンダーを見て、日付・曜日・祝日名を英語で言える。連休の日数を英語の数字で答えられる。

準備

- 今年の4月末～5月はじめのカレンダー（1人1枚。祝日に色をぬれるよう白黒で印刷）
- 色鉛筆
- 祝日の絵カード4枚（昭和の日・憲法記念日・みどりの日🌱・こどもの日🎉）
- 基本セット p.3（マッチング）の絵

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	こいのぼりや新幹線の絵を見せて「どんなお休みかな？」と聞き、ゴールデンウィークを思い出させる。April と May の言い方を全員で言う。	絵を見てゴールデンウィークのことを話し、April / May を声に出す。	"Look! What's this? It's a carp streamer." "It's Golden Week soon." "Say it with me. April. May."
展開1	5	カレンダーを配り、4月29日・5月3日・5月4日・5月5日に色をぬらせる。絵カードを見せながら、Showa Day / Constitution Day / Greenery Day / Children's Day の英語名を1つずつまねて言わせる。	祝日に色をぬり、祝日の英語名をまねて言う。	"Color April 29, May 3, May 4, and May 5." "May 4 is Greenery Day. Repeat." "May 5 is Children's Day. Repeat."
展開2	5	先生が What day is May 5? と聞き、児童が It's Children's Day. と答える。慣れたら児童どうしのペアで質問し合う。曜日も聞き、What day of the week is May 3? にも答えさせる。	先生や友だちの質問に、It's ... Day. と祝日名や曜日で答える。	"What day is May 5?" "Good! It's Children's Day." "Now ask your partner." "What day of the week is May 3? Look at the top of the calendar."
まとめ	2	色をぬった日と土日をつなげて、今年は何連休になるかを数えさせる。How many days off? と聞き、英語の数字で答えさせる。	連休の日数を数えて、英語の数字で答える。	"Count the days off. One, two, three..." "How many days off?" "Great! Have a happy Golden Week!"

板書例

🎉 Golden Week 🎉

April 29 Showa Day（昭和の日）

May 3 Constitution Day（憲法記念日）

May 4 Greenery Day（みどりの日）🌱

May 5 Children's Day（こどもの日）🎉

Q: What day is May 5?

A: It's Children's Day.

How many days off? ____ days!

✓ 評価のポイント

- It's ... Day. の形で、日付に合う祝日名を言えたか。
- カレンダーを見て、連休の日数を英語の数字で答えられたか。
- ペアで質問と答えを交代しながら言えたか。

👉 つまづきへの手だて

- 祝日名が長くて言いにくい子には、Children's Day と Greenery Day の2つから始める。
- 数字が出てこない子には、カレンダーの日にちを指でさしながら先生といっしょに数える。
- 曜日がわからない子には、カレンダーの一番上の Sun / Mon などを見るよう伝える。

🔥 発展

- 基本セット p.3 のマッチングで、movie / train / carp streamer などの絵と単語を結ぶ。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで、train や carp streamer をなぞって書く。
- 基本セット p.6 の迷路（Help Kai find the way to Grandma's house!）に取り組む。

📖 使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き）
- 今年の4月・5月のカレンダー